

各地からのたより

治山工事現場へ

太陽光発電システム導入

「CO₂削減、地球温暖化対策」

「伊那谷総合治山」長野県飯田市の北西部、風越山から中央アルプス南端一帯は、飯田市の主要な水源地ですが、ぜい弱な地質による山腹崩壊等が激しく、その重要性から民有林直轄治山事業、森林整備が行われています。

このうち、割沢地区における治山運搬路の新設工事現場では本年度、工事中期間中設置する仮設事務所へ太陽光発電システムを導入し、CO₂削減、地球温暖化対策を進めています。

従来の仮設事務所では、発電機を設置し、必要な電力を賄っていました。

しかし、排気が事務所内に流入することにより良好な環境下で業務ができないこと、現場周辺の自然環境への配慮から、自然エネルギーを利用した太陽光発電システムを導入しました。

これにより、従来の発電機使用による電力供給に比べ、十年間で約七トンのCO₂の削減が可能となるとともに、発電システム設置の際、電力需要に最低限度応える仕様とすることで、低コストでの設置を実現しています。

この工事請負会社では、太陽光エネルギーの利用可能な工事現場へのシス

テムの導入だけでなく、LED蛍光灯の導入をはじめとする省電力化、発電システムの改善や高出力化の検討等、地球温暖化対策への取組を予定しています。

今後、このような活動が広がりを見せ、地球温暖化防止へ寄与していくとともに、さらなる技術の応用が期待されます。



導入した太陽光発電システム

契約者同士が集い、語り合う場

「FFG交流会の開催」

「北信署」十月十七日、FFG（ファミリー・フォレスト・ガーデン）の契約者とその家族を対象とした「FFG交流会」をカヤの平自然休養林内の法人の森林「長寿の森林」において開催しました。

当日は、二十五名が参加し、インストラクターの案内で森林散策及びきのこ狩

りを楽しみました。標高が一、五〇〇に近いカヤの平は、朝方非常に冷え込んでいましたが、徐々に日差しが顔を出し、気がつくとき秋晴れとなっていました。

参加者は、鮮やかに紅葉した林内を二時間程歩きながら、必死にきのこを探していました。残念ながら今年はきのこが不作のため、期待する程の成果を上げることはできませんでしたが、「天気が良く、紅葉が綺麗で満足できた」「他の参加者と交流する機会がなかなかないのでとても貴重な時間だった」といった意見・感想が出されました。



秋晴れのもと全員で記念撮影

各種イベント」続々開催

「岐阜署」秋も深まり各地で収穫の声が聞こえるなか、下呂市小坂町において十月十八日に「アームレスリングとふるさとフェスティバル」が、また、二十四日（二十五日には、岐阜市において「森と木とのふれあいフェア」が開催され、岐阜森林管理署は国有林のPRと、森林の知識を広げるために、木工クラフト教室などで参加しました。

両イベントとも、天候にも恵まれ、多勢の来場者で会場も賑わうなか、毎年岐阜署ブースを楽しみに来る家族も多く、長い順番待ちができるほどでした。

木工クラフトでは、子供達が自分で考え自由に作ることを基本に作成していましたが、中には思わず口や手を出す親もあり、親子それぞれふれあいながら作品を作っていました。



来場者で賑わう当署ブース

第5回森林ふれあい講座

『木曾ヒノキ備林の散策』

「名古屋」 十月二十四日「木曾ヒノキの美しい森林を散策し、名古屋城本丸御殿資材伐採跡地を見学しよう」を名古屋市の熱田生涯学習センターと共催により東濃署加子母裏木曽国有林で開催し、抽選で選ばれた十八名が参加しました。

秋色に色づいた山々を見ながら木曾ヒノキ備林に到着したところ、カモシカが参加者をお迎え、普段都会で生活している参加者から一斉に歓声があがりました。

当日は、東濃署職員の案内により木曾ヒノキ備林の歴史や斧を使った古来からの伝統的な伐倒方法「三ッ緒伐り」の説明などを聞きながら、伊勢神宮の式年遷



「三ッ緒伐り」の説明に聞き入る参加者

宮御用材、名古屋城本丸御殿用資材の伐採跡地などを見学しました。

見学後、参加者からは「普段行けない貴重な場所に訪れることができて感激しました」「丁寧な説明で勉強になった」「新鮮な空気を吸って気持ち良かった」などの意見が出され、秋の森林を満喫した一日となりました。

名古屋城本丸御殿の復元は、名古屋開府四百年を迎える平成二十二年に玄關の一部が一般公開の予定となっています。

藤前干潟で森林の役割をPR

「名古屋」「藤前干潟ふれあいデー」が名古屋市港区の藤前干潟にある環境省施設「稲永ビジターセンター」と「藤前活動センター」において、生物多様性条約第十回締約国会議（COP10）のパートナーシップ事業として、名古屋市で来年開催されるCOP10の開催時期に合わせ、十月二十四日～二十五日の二日間にわたって開催されました。

この藤前干潟は、伊勢湾奥部で唯一残されている大規模な干潟で渡り鳥の中继地として国際的にも重要とされ、平成十四年に「国際的に重要な湿地」としてラムサール条約湿地に登録されたところ

です。
当ふれあいデーへの名古屋事務所の係わりは、平成十八年からで、山と海、そ



作った作品を持って記念撮影

の間にある干潟が自然の中の重要なサイクルの一つととらえ協力出展してきました。

今回、名古屋事務所では、ヒノキ間伐材を使った丸太切り体験と間伐の重要性についてのDVD放映、「美しい森林づくり」への参加を呼びかける名古屋シティ・フォレスト事業への隊員募集チラシ配布、森林の働きや重要性についてのパネル展示を行いました。

両日とも好天に恵まれ、当事務所の出張コーナーには小学生や家族連れを中心にたくさんの方が訪れ、切ったヒノキ丸太の香りに「ああ良いにおい」と感激しながら、鉛筆立てや壁飾り、コースター作りに親子で楽しんでいました。

国産材利用推進功労者への感謝状贈呈式

感謝状贈呈式

「販売課」平成二十一年度国産材利用推進功労者への感謝状贈呈式を、十月十四日、木曽官材市売協同組合入礼会場において土場活用委託販売と併せて行いました。

これは、当局管内の国有林材の積極的な活用と森林資源の利用推進に貢献された方への感謝の意を表し、感謝状を贈呈するため「木づかい推進月間」が展開されている十月期に合わせ、贈呈式を開催しているものです。今回は、都合により受賞者全員の参加とはなりませんでしたが以下の七社の方々に感謝状を贈呈いたしました。



受賞されたみなさん

中部森林管理局長感謝状受賞者一覧

感謝状 贈呈者	会 社 名	代表者名	住 所	郵便番号	電話番号
森 林 管 理 局 長	飛騨高山森林組合	代表理事組合長 道脇 敏彦	岐阜県高山市清見町三日町 187番地1	506-0102	0577-68-2221
	白鳥林工協業組合	代表理事 美谷添里恵子	岐阜県郡上市白鳥町大島 1546	501-5124	0575-82-2127
	丸ト木材市売(株)	代表取締役 松下 恒文	愛知県小牧市上末字久治面 2488	485-0822	0568-77-8911
	(株)勝野木材	代表取締役 勝野 智明	長野県木曽郡南木曽町読書 1750	399-5301	0264-57-2532
	(株)西村木材店	代表取締役 西村 仁雄	三重県松阪市郷津町186	515-0002	0598-51-2761
	名古屋国有林材 協同組合	代表理事 梶浦 好弘	愛知県名古屋市中川区山王 1-4-12	454-0011	052-321-7902
	(有)河合材木店	代表取締役 河合 貞雄	愛知県名古屋市中区松原 3-2-16	460-0017	052-321-3173



上ヶ洞森林事務所班員

職場の安全は

家庭から

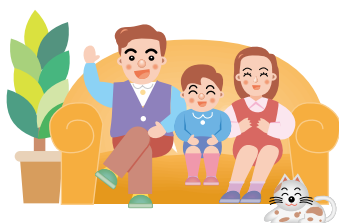
「飛騨署上ヶ洞森林事務所班」当班の作業現場は、岐阜県高山市の東部で、北を秀峰乗鞍岳、南を霊峰御岳に挟まれた高根町と朝日町を管轄する三つの森林事務所（上ヶ洞、秋神、中洞）の国有林です。

班員は三名（内OB臨時一名）で、主な作業は、林道維持修繕作業、収穫調査、境界巡検などを実行しています。我が班のモットーは「家庭が明るくなければ職場も暗くなり、安全が保てない。楽しい家庭と明るい職場であってこそ安全に楽しく仕事ができる」を合い言葉に

ミーティングをこまめに行い日々安全作業に取り組んでいます。

昨年からは、十二月からの約半年間、高根町内のチャオ御岳スノーリゾートスキー場で受託事業に従事しています。これまで、冬山事業は保育間伐や枝打作業を主に行ってきたことから、初めてのスキー場受託事業で不安もあり、慣れない接客や施設整備等の作業で最初は大変でしたが、全員無災害で無事に終了することができ、終了後はスキー場からも、「よく働いてもらえました」と感謝されました。

今年ももうすぐ受託事業が始まりますが「職場の安全は家庭から」を合い言葉に、各人楽しい家庭づくりに努め、職場でのチームワークを大切に健康で怪我をしないよう一丸となって職務に取り組んでいきたいと考えています。



行事・会議等の予定

◎森林計画等検討会

12月17日 長野市

◎森林ふれあい講座

12月12日 愛知所管内

八ヶ岳



「南信署」八ヶ岳は、長野県と山梨県の県境南北約三〇^{キロメートル}に峰を連ね、南は編笠岳、北は蓼科山を抱き、夏沢峠を境に北から蓼科山、北八ヶ岳、南八ヶ岳の三つのエリアに分けられ、全体は八ヶ岳連峰と呼ばれています。

八ヶ岳連峰の北に位置する蓼科山は（標高二、五三〇^{メートル}）別名「信濃富士」「諏訪富士」とも呼ばれ円錐形の美しい山体をしています。

北八ヶ岳エリアは、天狗岳（二、六四六^{メートル}）、縞枯山（二、四〇三^{メートル}）、北横岳（二、四七三^{メートル}）などの苔むした針葉樹林の黒い森や、大小様々な池が点在し神秘的なムードを醸し出しています。また、一〇〇人乗りのロープウェイがあり、夏は登山、冬はスキーと年間を通じて観光客が楽しめる場所となっております。

南八ヶ岳エリアは、八ヶ岳連峰の主峰である赤岳（二、八九九^{メートル}）、百名山

の八ヶ岳とは赤岳のことを指しています。権現岳（二、七一五^{メートル}）、硫黄岳（二、七六〇^{メートル}）などが代表されるように、北八ヶ岳の神秘的なムードの山と違い荒々しい岩峰が連なり、本格的な登山コースが多く、稜線にはコマクサに代表される高山植物が多く生育しています。

八ヶ岳連峰には、八ヶ岳由縁の昔話があります。大昔富士山の女神の浅間（せんげん）さまと、八ヶ岳の男神の権現（こんげん）さまが背くらべの話があり「二つの山のでっぺんに、長い樋を渡し、水を流したらどんなものか。水は高いほうから、低いほうへ流れていくはずだ」ということで、木曾の阿弥陀如来さまは二つの山に樋を渡し、水は、富士山のほうへと流れていきました。大昔は、富士山よりも、八ヶ岳のほうが高かったのです。

八ヶ岳は得意になりましたが、気の強い富士の女神さまは、くやくてなりません。思わず八ヶ岳の頭を、ごつんと、なぐってしまいました。すると、八ヶ岳の頭は八つにわれてしまいました。との民話がありますが、昔から「八」という数字は「たくさん」をあらわしており、「八百屋」「八百万の神」「うそ八百」などに代表されるとおり八ヶ岳もたくさん山々が連なっていることを表しているのかもしれない。

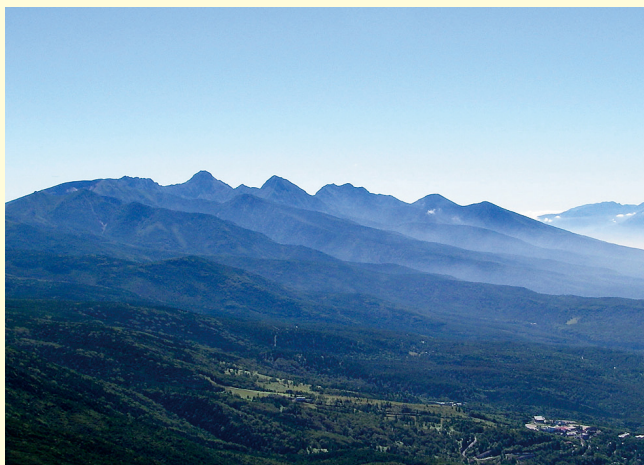
是非みなさんも、たくさん山がある八ヶ岳を登ってみてください。

◆アクセス

○公共交通機関を利用した場合

J R 中央線茅野駅で下車し、いずれも駐車場まで約一時間

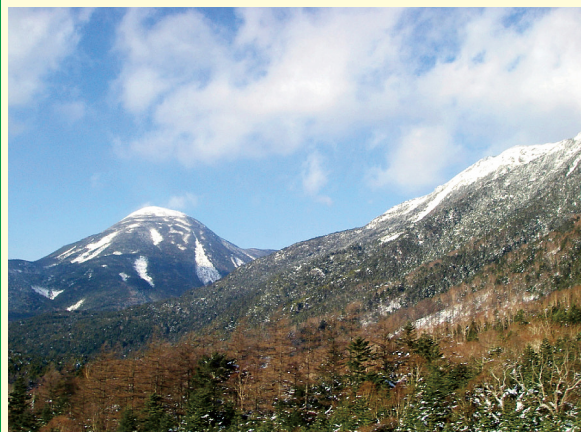
蓼科山は、大河原駐車場から徒歩約二時間一〇分



蓼科山から南八ヶ岳を望む



観光客でにぎわう北八ヶ岳の坪庭周辺



冬の蓼科山（2,530^{メートル}）



八ヶ岳の主峰 赤岳（2,899^{メートル}）

北横岳は、ピラタス蓼科ロープウェイ駐車場からロープウェイで七分、徒歩一時間
赤岳は、桜平駐車場から徒歩六時間